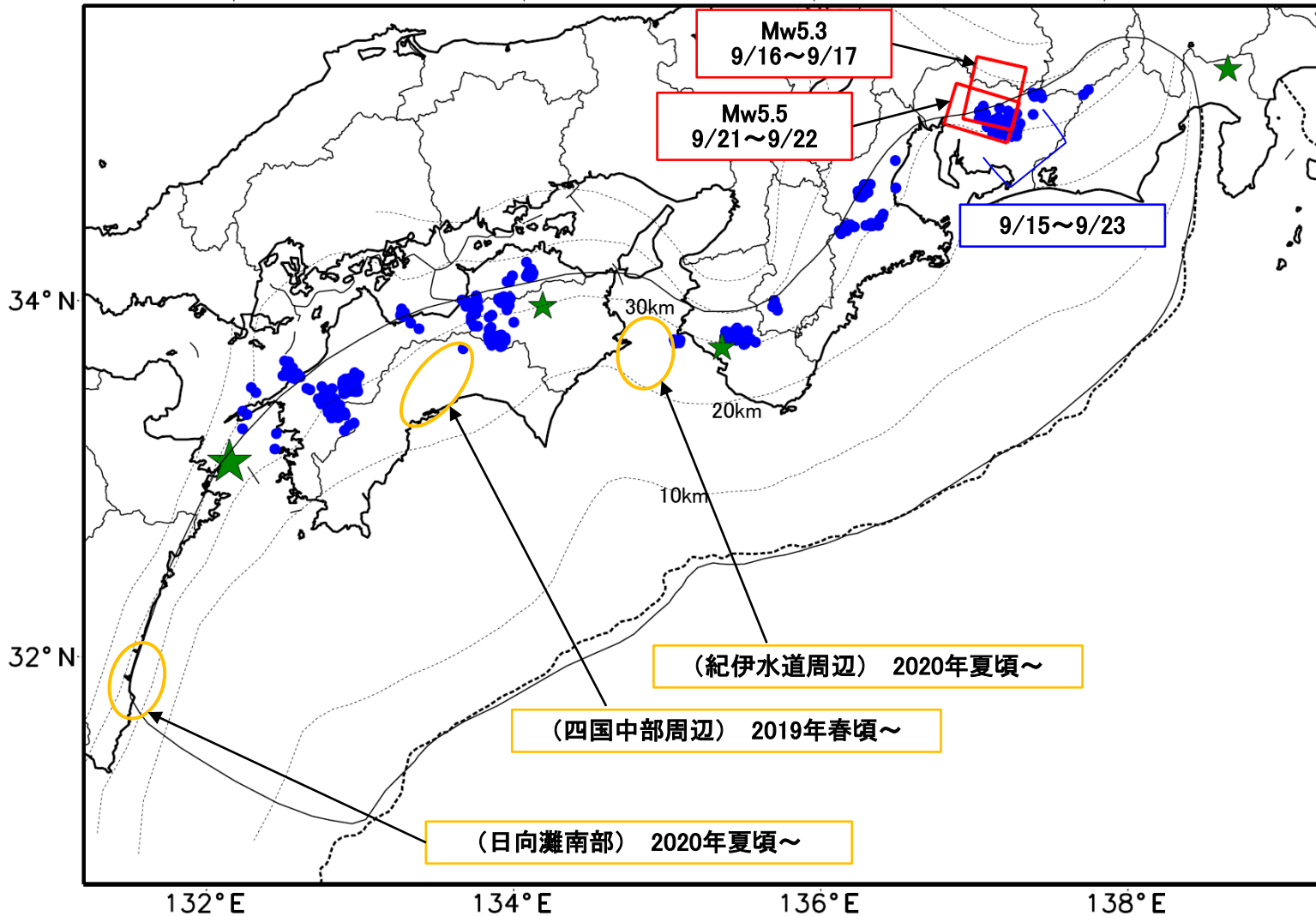


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2021年9月1日～10月5日

100km



- 緑(★)
通常の地震(最大震度
3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、
Hirose et al.(2008), Baba
et al.(2002)によるフィリピン
海プレート上面の深さを
示す。

※M5.0以上の地震に吹き
出しを付けている。

(紀伊水道周辺) 2020年夏頃～

(四国中部周辺) 2019年春頃～

(日向灘南部) 2020年夏頃～

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【東海】気象庁の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

令和3年9月1日～令和3年10月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
9/1	02:55	和歌山県北部	46	3.8	2	フィリピン海プレート内部
9/11	11:52	徳島県北部	44	3.6	2	フィリピン海プレート内部
9/12	11:17	豊後水道	45	4.2	3	フィリピン海プレート内部
9/29	23:39	静岡県東部	6	3.5	3	地殻内

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p>9月2日～5日 9月11日～13日 9月18日 9月20日～21日 9月26日～10月3日</p> <p>■四国中部</p> <p>9月15日 10月2日</p> <p>■四国西部</p> <p>9月4日～5日 9月10日～20日 9月23日～27日 9月29日～30日 10月2日～4日</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>9月10日～14日 10月3日</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>9月11日</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>9月1日～2日 9月9日～10日</p>	<p>9月3日</p> <p>9月15日～23日 . . . (1)</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を**赤字**で示す。

※上の表中（1）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

気象庁作成